

第5章 今後の取組

子どもたちの「わからない・できない」を「わかった・できた」という実感につなげ、学習指導要領で求められる力を確実に身に付けられるよう、県教育委員会としてこれまで以上に市町等教育委員会と連携しながら、各学校・各市町の状況に応じた取組や学校・家庭・地域が一体となった取組を支援してまいります。

学習内容の理解・定着状況を確認するための取組

(1) 学-Viva!!セット（ワークシート）の提供

分析結果を踏まえ、課題に対する子どもたちの理解と定着状況が確認できるよう、当該学年で身に付けておくべき基礎からの標準的な問題を集めた学-Viva!!セットを全小中学校等に提供（11月、2月）します。

(2) みえスタディ・チェックによる改善状況の確認

各学校において改善状況を確認し、年度内に「できなかったことをできるようにする取組」が進められるよう、1月実施分では、これまでのみえスタディ・チェックや全国学力・学習状況調査の問題と同一、同趣旨の問題を作成・出題します。

経年的な課題の改善に向けた取組（「読む力・伝える力」の育成）

「わかる・できる育成カリキュラム（読む力・伝える力編）」の提供

文章を読む力・伝える力の育成に向け、各学年の系統性を意識し、より効果的な指導が行えるよう、指導のポイント、たしかめプリントで構成した指導資料（「わかる・できる育成カリキュラム（読む力・伝える力編）」）を全小中学校等に提供します。

教員研修による「学力向上の取組の理解と活用」についての教員への周知

(1) 新任管理職研修における取組

新任管理職研修に授業改善のマネジメント、教員の授業力向上に向けた指導・助言方法などを取り入れます。

(2) 教職員研修における取組

若手教員を対象とした研修に、めあて・振り返りの効果的な実施、子どもたちの課題に対応した授業づくり、教材の活用など、授業改善に向けたより実践的な取組を位置付けます。

(3) 国の調査官を招へいた研修会の開催

国の調査官を招へいた授業改善研修会（小学校国語・算数・理科、中学校国語・数学）を開催し、新学習指導要領に基づいた授業改善の視点や、効果的な少人数指導のあり方について学び、授業の質的向上を図ります。

中学校英語における取組

(1) ワークシート（学-Viva!!セット）の提供

全国学力・学習状況調査の結果を受け、課題の見られた設問について指導のポイント・授業改善の取組を解説した資料及び課題に対応したワークシート（学-Viva!!セット）を作成し、中学校等に提供します。

(2) 研修会の開催

各地域の実情に応じた英語地域別強化研修（15地域）、新学習指導要領に基づいた授業改善の充実を図るための公開授業等を実施します。

(3) CAN-DO リストの更新依頼と資料の活用促進

「CAN-DO リスト」を4技能（5領域）に更新するよう各中学校等へ依頼するとともに、その活用を促進します。

また、授業改善のポイントを記載した資料について、各種研修会での一層の活用を進めます。

(1) 生活習慣・読書習慣チェックシートの取組

子どもたちの生活習慣、読書習慣の確立に向けて、三重県 PTA 連合会と連携した「生活習慣・読書習慣チェックシート」の取組を進めています。生活習慣・読書習慣チェックシートの活用率やチェックシート実施後の児童生徒や保護者へのフィードバック率は年々向上していますが、依然、平日の学習時間や読書習慣に課題が見られます。今後も、生活習慣等の改善に向け、学校・家庭・地域が一体となった取組の推進をお願いします。

(2) 読書に関する取組

発達段階に応じた読書活動の推進、読書活動を通じた言語能力の育成に向け、さまざまな読書活動の取組（朝の連続小説、ポップづくりなど）を小中学校等に提案するとともに、各学校の実情に応じた学校図書館を活用した調べ学習や読み聞かせの取組を行っています。ビブリオバトル等を通して本の内容や楽しさを共有し、「ひとりの読書」から「みんなの読書」への発展を促進しています。

家庭で大人と子どもがともに本に親しむ「家読（うちどく）」のチラシを学校を通じて配布し、家庭での取組を啓発するとともに、家庭での読書活動を推進し読書の幅を広げるツール（読書の楽しさ広がるビンゴカード）を作成し、小学校を通じて活用を働きかけています。

(3) 地域による学習支援や居場所づくりの取組

地域の人々と目標やビジョンを共有し、地域と一体となって子どもたちを育む「地域とともにある学校づくり」を推進し、公立小中学校等にコミュニティ・スクールを中心とする学校経営・学校運営の仕組みの導入を図っています。経済的な理由や家庭の事情により、家庭での学習が困難であったり、学習習慣が十分に身に付いていなかったりする児童生徒を対象に、地域住民等の協力によって学習習慣の確立と学力の向上を図るための地域未来塾の取組を支援しています。

<参考> 「子どもの問題は、大人の問題」です。

子どもたちは、一人ひとりがかけがえのない大切な存在であり、将来、地域で輝き、世界で活躍する姿は、私たちの希望であり未来です。子どもたちの無限の可能性を最大限引き出すとともに、強みを伸ばして支えていくことは、子どもたちに関わる全ての大人の役割と責任です。子どもたちは、大人を見ており、「子どもの問題は、大人の問題」です。

教育は子どもたちの心に灯をともしることであり、大人が子どもたちを信じ、寄り添い、情熱を持って心を通わせる中で、希望の灯をともし、やる気にスイッチを入れることが大切です。また、子どもたちは、さまざまな場での学びをおして成長していきますが、教育格差が原因となって貧困の連鎖が生まれ、子どもたちの将来が閉ざされることがないよう、子どもたちを多面的にサポートする人びとのつながり（絆）が、これまで以上に求められています。

そこで三重県では、子どもたちの希望と未来を支える学力を育んでいくため、教育関係者のみならず、全ての県民が教育の当事者としての自覚を持ち、「毎日が未来への分岐点」という思いのもと、それぞれの役割を果たし、子どもたちと向き合っていきます。平成 28 年度からの 4 年間は、みえの学力向上県民運動セカンドステージとして、学校では授業改善等の取組を深め、家庭・地域では生活習慣・学習習慣・読書習慣の確立等の取組を広げ、家庭の状況により、対応が難しい問題については、地域による学習支援や居場所づくりなどにより、地域で支えるという方向性を基本としながら、県民力を結集し、全力で取り組みます。

（「みえの学力向上県民運動 基本方針」より一部抜粋）

<参考>

みえの学力向上県民運動セカンドステージ (<http://www.mie-c.ed.jp/kenminundou/>)

○基本方針

・県民運動の趣旨等をご覧ください。

○生活習慣・読書習慣チェックシート

・ダウンロードして活用していただけます。

○みえの親スマイルワーク

・「みえの家庭教育応援プラン」に基づき作成された、学級・学年の懇談会、PTA の行事などの機会や、地域のサークルや企業内での集まりなど、研修会や学習会だけでなく、さまざまな場面で活用していただけるワークシートを掲載しています。



みえの学力向上
県民運動
セカンドステージ



生活習慣・
読書習慣
チェックシート



みえの親
スマイルワーク